

# 篠中だより

## 令和4年度全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和4年4月19日(火)に、3年生を対象として、「教科(国語、数学、理科)に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

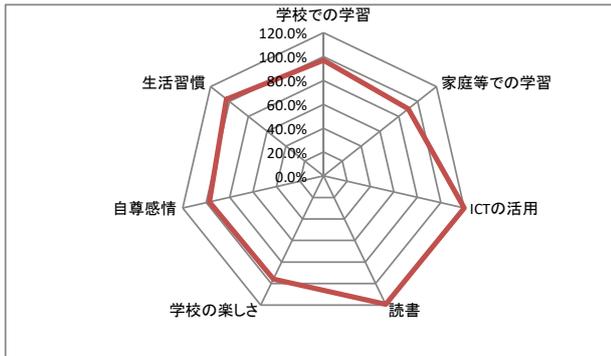
学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

### 1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析(傾向や特徴)	全国平均正答率との比較
国語	「話すこと・聞くこと」については、全国平均を大きく上回っている。一方で、「情報の扱いに関する事項」が県平均を若干下回っている。全体的には概ね全国平均を上回っている。	上回っている。
数学	目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を証明することや、データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて、説明するに関する問題は全国平均を上回っている。一方で、筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を証明することが不得意な生徒が多い。	下回っている。
理科	「生命」を柱とする領域や記述に関するの正答率が高い。一方で、「粒子」を柱とする領域の問題が全国平均を下回っている。また知識・技能に関する問題を苦手とする生徒が多い。	上回っている。

### 2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析
<ul style="list-style-type: none"> <li>・1日当たりのテレビゲームの1時間以下の利用率、「読書は好きですか」の割合は全国平均を上回っている。「子ども読書の取組」「朝読書の取組」等を通して、読書に対する関心が高まっている。</li> <li>・将来の夢や希望をもっている生徒の割合が、全国平均を上回っている。「特別活動・総合的な学習の時間」の系統的な取組を通して、それぞれの夢を実現させるために、具体的な目標を設定して、行動に結び付けさせる指導がある程度できていると思われる。</li> </ul>

### 3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科に関する取組

「考えを深める話し合う活動と書く活動」を積極的に取り入れ、生徒が自分の意見を発表することができ、さらにICT機器を有効的に活用した「授業づくり」、またそれを確かめ合うことができる「学級・学年づくり」に取り組む。

#### ② 家庭生活習慣等に関する取組

学習面では、「篠中ノート」やタブレットを活用した家庭学習の定着の取組、生活面では、携帯電話・スマートフォンやコンピュータ等の使い方について、家の人と約束したことを遵守することの重要性を育てるための取組を実施する。